

請願・陳情參考資料

平成22年9月14日

農 林 水 産 部

陳 情 (新規)

(農政課)

受理番号 (受理年月日)	所 管	件名及び提出者	現 状 と 県 の 取 組 状 況
22年-21 (22.8.20)	農林水産	<p>食のみやこ販売拠点施設に関する陳情書</p> <p>鳥取市 山本 誠 田中 信男 石海 輝雄 嶋澤 幹雄 高田 忠治 岩美町 佃 祐行</p>	<p>食のみやこ鳥取県販売拠点施設に関する陳情書の提出について</p> <p>1 「食のみやこ鳥取県」販売拠点施設建設に向けた取組経過の概要</p> <p>(1) JAグループは、農畜産物等の大型直売施設を建設するために「食のみやこ鳥取県」販売拠点企画推進協議会を平成21年7月14日に組織し、平成21年12月21日、同協議会で、建設を合意、決定された。</p> <p>① 事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全県下の農畜産物等を本施設に一同に集め販売や交流の拠点として、農業者等の所得向上や販路拡大に発展。 ・鳥取自動車道の開通を活かし、「食のみやこ鳥取県」の魅力を県内外へ情報発信し、県内への誘客を促進。 ・併せて、全県下の農畜産物集荷制の構築により、学校給食への県産食材の利活用や食育の取組み等を促進。 <p>② 協議会の構成(44団体)</p> <p>県内全JAグループ、県漁協、県森林組合連合会、県及び全市町村、鳥取大学、生協、商工物産関係団体、地元自治会等。</p> <p>(2) 平成22年 3月12日、JAグループは、施設整備・運営の主体となる「(株)食のみやこ鳥取」を創立。(各JA等が出資)</p> <p>(3) 各JAは、組合員や直売所会員への説明会を開催するとともに、理事会・総代会において、出資を議決済み。</p> <p>< 参考:「食のみやこ鳥取県」販売拠点施設の整備計画の概要 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設場所 鳥取市賀露町西浜「かろいち」敷地内に建設 ・事業内容 農畜産物直売施設、食材供給施設(レストラン)、交流施設(食育交流スペース)等の整備 ・事業費(補助金) 469百万円(214百万円) ・建設予定 着工:平成22年12月、竣工:平成23年3月 オープン:平成23年5月~6月 ・雇用従業員数 30名程度(正職員及びパート職員) ・販売等目標(平成25年度、開業3年目) 販売額 8.7.0百万円、施設利用客数 90万人

2 県の取組み状況

(1) 県は、農業者の販路拡大や「食のみやこ鳥取県」の推進につながる基幹施設であることから、協議会にも参画し、鳥取市等と協調・連携して、支援しているところ。

- ① ふるさと雇用再生特別基金の活用による企画推進の支援
 - ・予算額 22年度当初36,953千円、21年度当初28,921千円
 - ・雇員人員 22年度 6人(継続4人、新規2人)、21年度5人
- ② 周辺整備(駐車場、かっこ館等の拡充整備)予算の確保
 - ・21年度2月補正 14,000千円、22年度当初 52,733千円
- ③ 施設建設に係る国事業の活用支援
 - ・平成22年 3月12日、強い農業づくり交付金に事業申請(平成22年 5月31日、「ゼロ内示」)
 - ・平成22年 9月17日、産地収益力向上支援事業(第2次公募)に申請し、再チャレンジの予定
- ④ 国への要望
 - ・平成21年12月18日、強い農業づくり交付金での予算確保
 - ・平成22年 1月15日、" (郡司農林水産副大臣へ直接)
 - ・平成22年 3月27日、" (赤松農林水産大臣へ直接)
 - ・平成22年 6月12日、今年度の財源確保(山田農林水産大臣へ直接)
 - ・平成22年 7月30日、"

3 参考：各JAの主な直売所の農産物販売手数料等

直売所	手数料	搬入
食のみやこ鳥取県販売拠点施設	15%	・各農業者が、各JA集荷ポイント(いなば5カ所、中央3カ所、西部1カ所)まで搬入。 ・集荷ポイントからの搬入コスト(横持ち運賃)は、販売手数料の中で事業主体が負担。
JA鳥取いなば愛菜館	13%	各農業者が負担
JA鳥取中央満菜館	15%	"
JA鳥取西部アスパル	16%	"